

平成28年度 第4回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日 時 平成29年3月23日（木）13時30分～15時30分
- 場 所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 内山会長、高野委員、堀江委員、太田委員、川越委員、鈴木委員、高木委員、竹谷委員、田澤委員、戸澤委員、藤田委員、三橋委員、八木橋委員
- 欠席者 安東委員、館委員、福士委員
（委員16名のうち13名が出席）
- 事務局 柳田都市環境部長、秋元環境管理課長、丸岡環境管理課長補佐、西沢環境管理課長補佐、吹田主幹兼廃棄物政策係長、福士資源循環係長、田沢主幹兼環境事業係長、成田（貴）廃棄物政策係主査、成田（一）廃棄物政策係主査、田中環境保全係主査、齊藤廃棄物政策係主事、古川環境事業係主事

○内 容

1. 開 会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

2. 会 議（進行：内山会長）

【案件1】平成28年度廃棄物施策の実施状況報告

⇒【資料1】について事務局より説明を行った。

【案件1】に対する意見・質問等

・古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収や、再生資源回収運動について、回収したものについてはどのように処理されているのか。

⇒回収されたものについては、行政回収及び再生資源回収運動のどちらにおいても、資源再生業者に引き渡し、適切に処理されている。

・現在、いろんな施策に取り組んでおり、減量効果が出ているように感じているが、「毎月何日はごみ減量の日」という形で意識づけを行ってはどうか。

⇒国では毎年10月を3R推進月間として位置付けている。市においても、キャンペーンイベントなどをその時期に合わせて実施するようにしている。

・事業系ごみ適正排出指導に関して、店舗兼住宅などの小規模事業所についても対象として指導をしており、よいと思った。ただ、事業系ごみについては、農業から出るごみも含まれると思うが、その点の対策についてはどうか。

⇒事業系ごみ適正排出指導については、店舗兼住宅などの小規模事業所を対象とするほか、農村地帯への対応についても検討している。現段階の対応としては、現状把握を進めており、具体的には同じ農作物であっても、家庭から出るもの、事業から出るものの判別がなかなか難しいものがあるため、集積所を調査するなどして検討を進めていきたいと考えている。

【案件2】平成29年度一般廃棄物処理実施計画説明

【案件3】平成29年度廃棄物施策説明

⇒【資料2】【資料3】について事務局より説明を行った。

※内容に重複する部分があるため、併せて説明を行った。

【案件2】、【案件3】に対する意見・質問等

- ・啓発広報誌の作成・配布について、このような取組みを実施するのは大変結構なことだと思う。ただ、留意してもらいたいこととして、現在、市内全般に高齢者が多くなっているという現状を鑑み、全体的に字を大きく、内容も簡潔にしていいただきたい。また、我々も普段の町会活動において、いろんな資料等を作成し、配布して回っているが、こないだ配布したばかりのものがもう捨てられているという状況も目にするので、そういった部分も配慮してほしい。

⇒ご意見を踏まえながら進めさせていただきたい。

- ・ごみ減量化・資源化推進キャンペーンについて、例えば、市の公用車にもたか丸くんのステッカーが貼られているものがあるが、ああいう形で、ごみに関する周知啓発になるものを展開していけばよいと思う。通行人なんかでも気軽に気づけるようなものを制作してみてはどうか。また、ごみ分別促進アプリについても非常によいと思う。

⇒たか丸くんエコバージョンについては、様々な媒体で展開するようにしている。そのほか、例えば、他の自治体ではパッカー車の側面に啓発ステッカーを貼ったり、バスの広告を掲載するなどして市民の目に付くような広報をしている事例もあるため、検討をしていきたい。

【案件4】し尿処理制度に係る検討状況報告

⇒【資料4】について事務局より説明を行った。

【案件4】に対する意見・質問等

- ・旧弘前市の3社については、平成10年以来、実質的な改定が1度もない。また、平成10年と比較すると、現在のし尿の収集量は約5分の1となっている。つまり、収集量は5分の1になっているのにもかかわらず、料金改定がないというこ

とで、各業者はほぼ赤字で実施しているのが実情である。そのような業者の事情を考慮して、今後のスケジュールについて可能な限り早急に進めてほしい。特に、し尿の収集料金の水準についての検討を先にお願ひしたい。

⇒料金改定については、実質的な改定が、平成10年からなされていない状況であり、弘前市の水洗化率は他自治体と比較して非常に高くなっている。一方で、弘前市のし尿収集に係る料金は県内で最も高い水準になっているという状況もある。そのような状況について、現在基礎資料をまとめている段階ではあるが、早急に進めさせていただきたい。

【案件5】 廃棄物処分手数料等の見直しに係る諮問内容説明

⇒【資料5】について事務局より説明を行った。

⇒また、次回の審議会において、答申案についての審議を実施したい旨、会長より報告がなされ、了承された。

【案件5】に対する意見・質問等

・埋立処分場に市民が直接持ち込むものはどのようなものがあるのか。また、搬入されるものの割合はどうなっているのか。

⇒現在想定されているものとしては、環境整備センター及び南部清掃工場から出た焼却灰が約9割、そして残りの1割のうちのほぼ全てが側溝泥土となっている。そのほか、ほんの一部の量になるが、環境整備センターで処理できないものについて、個人の搬入を認めている。頻度としては、今現在、年間1～2件となっている。このように、個人の搬入頻度というものはあまりないのが実情だが、次年度新しい区画を供用開始するタイミングで料金改定を検討させていただいた。

【案件6】 分別区分の見直しに係る検討状況報告

⇒【資料6】について事務局より説明を行った。

【案件6】に対する意見・質問等

・市民にとって分別区分がわかりやすくなり、リサイクルが進むことは、焼却ごみが減るという効果につながるもので、現時点としては進めてよいと感じた。

【案件7】 家庭系ごみ有料化に係る検討状況報告

⇒【資料7】について事務局より説明を行った。

【案件7】に対する意見・質問等

・特になし

【案件 8】 その他

⇒【資料 8】「平成 29 年度審議会スケジュール（案）」について事務局より説明を行った。

⇒その他、人事異動者挨拶を実施した。

【案件 8】 に対する意見・質問等

- ・特になし

●総括（進行：内山会長）

- ・ 次回の審議会は、6 月下旬頃を予定している。
- ・【案件 4】 については、次回、諮問を予定している。
- ・【案件 5】 については、次回、答申案の審議を予定している。
- ・【案件 6】 については、次回も引き続き審議を予定している。
- ・【案件 7】 については、次回も引き続き進捗状況の報告を予定している。

4. 閉 会（進行：丸岡環境管理課長補佐）

○資 料

- ・ 廃棄物の処分（埋立処分）に係る手数料等の改定について（諮問）（写）
- ・【資料 1】 平成28年度廃棄物施策の実施状況について
- ・【資料 2】 平成29年度弘前市一般廃棄物処理実施計画（案）
- ・【資料 3】 平成29年度廃棄物施策について
- ・【資料 4】 し尿処理制度の見直しについて
- ・【資料 5】 廃棄物処分手数料等の改定について
- ・【資料 6】 分別区分（雑がみ・その他の紙）の見直しについて
- ・【資料 7】 家庭系ごみ有料化に係る検討状況について
- ・【資料 8】 平成 29 年度審議会スケジュール（案）
- ・【参考】 宴会五箇条チラシ

○公開・非公開の区分 「公開」